



ご当地 太陽さん 茨城

茨 歯 会 報

No.608

茨城県歯科医師会
Ibaraki Dental Association

March
2020
令和2年

3



Contents

デンタルアイ	1
村居 幸夫	
会務	3
理事会報告	5
会務日誌	6
センターだより	9
地区歯科医師会だより	25
柴崎 崇	
ピンクのエプロン	34
成井 恵子	

表紙写真について

日本三名園の一つ、偕楽園の梅です。2月中旬から梅まつりも開催され、さらに見事な梅の花々を観る事ができます。3月には夜梅祭もあり、昼間と違った雰囲気偕楽園を味わう事ができます。

(社) 東西茨城歯科医師会 石本 崇子

HIV感染者の歯科治療をしたことがありますか？ (HIV感染者の歯科医療体制整備について)



常務理事
村 居 幸 夫

HIV（ヒト免疫不全ウイルス）感染症は感染したとしてもHIVをコントロールすることで発症せずに健常者と同程度の寿命を全うすることができる疾病になっている。更に予防が可能で検査により容易に感染を判定でき、差別や偏見となるような疾病ではなくなっている。HIV自体は血液、精液、膣分泌液、母乳の中に多く存在し、母子（胎内、母乳）感染、性行為による感染、血液を介する感染があり、握手、くしゃみ、入浴、ペットボトルの回し飲み、蚊やダニに刺されるなどでは感染しない。歯科においては針刺し事故による感染が懸念されるが、HIV感染率は0.3%と言われている。B型肝炎の感染率30%、C型肝炎の1.8%に比較しても非常に低いことが分かる。

エイズ（AIDS：後天性免疫不全症候群）はHIVの感染により、CD4陽性リンパ球数（白血球の一種）が減少し、無症候性の時期（無治療で約10年）を経て、生体が高度の免疫不全に陥り、23の指標疾患（カンジダ症、カポジ肉腫、ニューモシチス肺炎、口腔毛状白板症など）の一つ以上が明らかに認められた場合にAIDSと診断される。どの疾患でも同じだが、AIDSと診断される前、HIV感染の急性感染期・無症候期に発見され、治療を開始したほうが予後は良好となる。

厚労省の統計では2016年の新規HIV感染者は男性965人、女子46人。新規AIDS患者数は男子415人、女子22人となっている。HIV感染者に対する医療提供の中で、『都道府県は、中核拠点病院の設置する連絡協議会等と連携し、医師会、歯科医師会等の関係団体や患者団体の協力の下、……診療連携の充実を図ることが重要である。特に、感染者等に対する歯科診療及び透析医療の確保について……感染者等へ滞りなく歯科診療や透析医療を提供することが重要である。』との記載がなされている。茨城県でも筑波大学附属病院がエイズ治療中核拠点病院となっている。その他、土浦協同病院、霞ヶ浦医療センター、東京医大茨城医療センター、茨城西南医療センター病院、県立中央病院、水戸赤十字病院、水戸医療センター、茨城東病院がエイズ治療拠点病院となっている。

冒頭でも述べたが、AIDSは標準感染予防策（スタンダード・プリコーション）で対応可能であり、通常の歯科診療所でも十分に患者さんを受け入れることができる疾病だということを再認識し、歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、その他の歯科医療従事者がそのことを自覚すれば歯科診療拒否が無くなるだろう。現在、茨城県歯科医師会では13歯科医療機関がHIV感

染者歯科医療ネットワークに登録しているが、会員の中にはこの登録制度を知らない先生方もいるだろう。この紙面を借りてネットワークへの登録をお願いする次第である（登録申し込みは茨城県歯科医師会事務局内：河本へ）。

針刺し事故などに対する予防薬については各

拠点病院が対応する体制をとっています。土・日・祝日でも対応できる体制ですが、病院内の全スタッフに周知することは困難なため、対応が不十分な場合は茨歯会担当理事（現：村居）への連絡をお願いしたい。

会務

新年会開催

1月16日（木）午後4時から水戸プラザホテルにおいて、令和の御代に変わって最初の茨歯会新年会が大井川和彦茨城県知事はじめ国会議員、関係団体代表など約100名の方々のご出席を賜り盛大に開催された。厳かな国歌斉唱のあと、挨拶の中で森永和男会長は「令和2年は子年、動物の王を定める逸話のなかで牛の背中を利用して勝利した機転の利くネズミにあやかり、私たちも発想の転換というか逆転の発想が重要ではないか。つまり超高齢社会のなかで一番大切なことは長寿社会を老人化するという考え方ではなく、高齢者を社会の働き手として社会の柱にするポジティブな考え方を持つことではないか。そのためには平均寿命と健康寿命の差を無くすこと、ひいては高齢者がもっと生き生きと働けるために健康でいていただかなければならない。これには今までの「完結型医療」だけでは難しいので、「口腔健康管理」を健診の一つの目玉にしていきたいと考えている。これは是非行政にもお願いしたい。8020運動を通して浸透している「よく噛むこと」は唾液の状態をより良くし、口腔健康管理を強化すること。こ

れがさらに脳の活性化を促し、ひいては医療費の削減にまで影響するのである。しかしながら未だ骨太の方針が地方に及んでいない。またフッ素対策は良いことなのに茨城では浸透していない。健康長寿社会の確立にはライフステージにおける対策が重要である。令和の年になり新たな気持ちでの再出発、逆転の発想という形で頑張ってもらいたい。「時に癒やし、しばしば救い、常に慰む」という言葉にあるように安らぎの歯科医療を提供し、噛むことの重要性を県民の皆様に訴えていきたい」と述べた。

祝辞では大井川和彦茨城県知事が「今年の子年で森永会長の話にもありましたが、ネズミの歯がどんだんのびて、今年まさに歯科界の年かなという感じがしております。茨城県は残念ながら、むし歯の無い子供の割合や歯の健康という点では全国平均をちょっと下回っているので努力する余地があると思っている。

またフッ素で口を洗う指導などもしっかりと啓発してもらいたい。個人的には歯を削られるのが大嫌いなので歯磨きをし、定期的に歯のクリーニ



森永会長挨拶



大井川知事挨拶

ングに通ってからは全くむし歯知らずになった、
 こういうことも含め今後更に定期歯科検診やフッ
 化物の応用の重要性も県民の皆さまに啓発してい
 きたい」と力強くご挨拶いただいた。

続いて額賀福志郎衆議院議員、岡田広参議院議

員からご祝辞をいただき、諸岡信裕茨城県医師会
 会長の乾杯のご発声により祝宴となった。アトラ
 クションでは本会会員の大串圭太先生、野口拓先
 生によるサクソとピアノの演奏で晴れやかな新
 年の祝いに花を添えていただきました。



諸岡医師会長乾杯挨拶



サクソとピアノの演奏



株式会社 岩瀬歯科商会



岩瀬歯科商会
Iwase Dental Supply, Inc.

昭和の幕開けと共に栃木県で創業した弊社は、今年で90年目を迎えます。
 皆様方への感謝を忘れず、未来を見据えた歯科ディーラー像を創造して参ります。



イワセオリジナルユニット

SIGNO NEXT

こだわりと好みをひとつずつ反映しながら、
ワンランク上のラグジュアリー空間と
心地よさを演出します。

■ 会社名称 株式会社岩瀬歯科商会

■ 代表取締役 岩瀬信之助 (クラスII) 特定保守管理医療機械

■ 事務所所在地 〒227-8500 東京都大田区

■ 設立年月日 昭和27年

製造販売・製作

株式会社モリタ東京製作所

本社〒100 埼玉県北本市中央区上落合2-1-24 TEL.048-852-1315

伊原工場 埼玉県北本市立野原町小室7129 TEL.048-723-2621

発売

株式会社モリタ

大阪本社 大阪府吹田市豊水區3-33-18 TEL.06-6380-2525

東京本社 東京都台東区上野2-11-15 TEL.03-3834-6161

事業所案内

本社	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
宇都宮支店	宇都宮市平出工業団地37-6	TEL.028-613-5858
水戸支店	水戸市白梅2-8-18	TEL.029-225-6543
松戸支店	松戸市幸谷観音下159-1	TEL.047-345-3131
千葉支店	千葉市中央区浜野町879-1	TEL.043-305-1182
上野支店	台東区台東2-23-7	TEL.03-3832-8241
古河支店	古河市下山町9-60	TEL.0280-30-1582
福島支店	福島市鎌田字卸町4-1	TEL.024-552-1161
世田谷支店	世田谷区玉川台2-11-17-101	TEL.03-5491-7595
練馬営業所	練馬区豊玉北4-14-11	TEL.03-5912-1180
横浜支店	横浜市栄区小菅ヶ谷1-28-9-101	TEL.045-895-3808
5月GW明け以降	横浜市磯子区中原2-1-19	NEW TEL.045-770-4182
前橋支店	前橋市紅雲町1-22-2	TEL.027-243-8241
5月GW明け以降	高崎市京目町176-2	NEW TEL.027-350-8241
厚木支店	厚木市酒井2087-14	TEL.046-228-5550
大宮支店	さいたま市見沼区東大宮7-41-1	TEL.048-688-1740
盛岡支店	盛岡市上堂1-6-5	TEL.019-648-2777
東大和支店	東大和市立野3-640-1	TEL.042-590-5770

理事会報告

第11回理事会

日 時 令和2年1月16日（木）14時

場 所 水戸プラザホテル 会議室

報告者 柴岡永子

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 報 告

(1) 一般会務報告

(3) 疾病共済の支払について

つくば地区 1名 53日間

鹿行地区 1名 16日間

(4) 第28回茨城県歯科医学会企画書について

(5) 茨城県歯科医学会学術奨励賞「福田賞」について

(6) 後援事業実績報告について【西南歯科医師会】

(7) 水戸市の中核市指定に伴う県水戸保健所の名称変更等について

(8) つくばピンクリボンフェスティバル2020への共催依頼について

(9) 委員会報告

地域保健委員会、専門学校

4. 協議事項

(1) 第2回地区会長協議会の提出議題について
承認

(2) 新年会について
承認

(3) 第192回日歯臨時代議員会地区代表事前質問について
承認

(4) 第8回日本臨床栄養代謝学会関東甲信越支部学術集会後援依頼について
承認

(5) その他

○行事予定について

2月20日（木）

13時30分～ 第4回業務会計監査

15時～ 第12回理事会

17時～ 第2回地区会長協議会

3月15日（日）

9時～ 第28回歯科医学会
(プラザホテル)

3月19日（木）

15時～ 第13回理事会

会務日誌

- 1月16日 第11回理事会を水戸プラザホテルにて開催。第2回地区会長協議会の提出議題、新年会、第192回日歯臨時代議員会地区代表事前質問、第8回日本臨床栄養代謝学会関東甲信越支部学術集会後援依頼について協議を行った。
- 出席者 森永会長ほか15名
- 1月16日 令和2年新年会を水戸プラザホテルにて開催。大井川県知事を始め、衆・参議院議員も招いての開催となり、来賓、会員など合わせて99名が新年を祝った。
- 1月20日 第3回医科歯科連携協議会が県立中央病院にて開催され、病診連携の状況ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永会長ほか2名
- 1月22日 職業紹介責任者講習がザ・ヒロサワ・シティ会館分館にて開催された。
- 出席者 須能職員
- 1月22日 第9回社会保険正副委員長会議を開催。第10回委員会、改定説明会日程、審査、理事会について協議を行った。
- 出席者 征矢副会長ほか4名
- 1月22日 第10回社会保険委員会を開催。保険改定説明会について協議を行った。
- 出席者 征矢副会長ほか22名
- 1月23日 新規指定保険医療機関等に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 4
- 1月23日 第10回日本歯科医師会理事会が日歯会館にて開催された。
- 出席者 森永日歯代議員会議長ほか1名
- 1月23日 第10回広報委員会を開催。会報2月号の編集・校正、会報3月号の編集、第28回茨城県歯科医学会参加について協議を行った。
- 出席者 柴岡広報部長ほか5名
- 1月24日 県要保護児童対策地域協議会保健・医療部会が県庁舎にて開催され、本県における要保護児童対策の現状ほかについて協議が行われた。
- 出席者 小林監事
- 1月26日 認知症対応力向上研修会を開催。午前の部は「認知症における連携と制度について」県保健福祉部健康・地域ケア推進課の担当者が、「認知症の人の口を支える基礎知識」と題して東京都健康長寿医療センター歯科口腔外科部長の平野浩彦先生がそれぞれ講演され、午後の部では「事例で考える認知症の人の支援」について東京都健康長寿医療センター研究所自立支援と介護予防研究チーム認知症と精神保健研究員の枝広あや子先生の講演の後、9グループに分かれてグループワークを行った。

受講者 66名

- 1月28日 第1回日歯予算決算特別委員会が日歯会館にて開催された。
出席者 森永日歯代議員会議長
- 1月29日 県学校保健・学校安全研究大会がザ・ヒロサワ・シティ会館大ホールにて開催され、よい歯の学校などの学校保健・学校安全関係表彰の後、実践発表、その後に「効果的な学校保健組織活動の在り方」の演題で講演が行われた。なお、席上、村居幸枝氏（水戸市）ほか17名が県学校保健会長表彰を受けられた。
出席者 森永会長ほか1名
- 1月29日 茨城新聞新春合同政経懇話会が水戸プラザホテルにて開催された。
出席者 森永会長
- 1月29日 都道府県地域保健・産業保健・介護保険担当理事連絡協議会が日歯会館にて開催された。
出席者 北見理事ほか1名
- 1月29日 県栄養士の新春懇談会がホテルレイクビュー水戸にて開催された。
出席者 森永会長
- 1月29日 県後発医薬品の使用促進検討会議が県庁舎にて開催され、今年度の事業内容ほかについて協議が行われた。
出席者 征矢副会長
- 1月30日 県子どもを守る110番の家ネットワーク会議が県警本部にて開催された。
出席者 鶴屋理事
- 1月31日 8020・6424運動推進部会が県立健康プラザにて開催され、令和元年度第3次健康いばらき21プラン（歯科口腔保健）取組状況について報告が行われた。
出席者 森永会長ほか3名
- 2月 1日 いばらき嚙下フォーラムがホテルレイクビュー水戸にて開催され、特別講演、2つの教育セミナー、ワークショップが行われた。
参加者 170名
- 2月 2日 県歯科衛生士会の新年会が水戸三の丸ホテルにて開催された。
出席者 森永会長ほか1名
- 2月 3日 テロ対策パートナーシップ推進会議総会及び対策訓練が県警察本部ほかにて開催された。
出席者 村居常務
- 2月 5日 第3回学校歯科委員会を開催。歯科医学会、日学歯学校歯科医師生涯研修制度 学校歯科医基礎研修会、予演について協議を行った。
出席者 鶴屋学校歯科部長ほか11名
- 2月 5日 県医療審議会医療法人部会が県庁舎にて開催され、医療法人の設立認可ほかについて審議が行われた。
出席者 森永会長
- 2月 6日 第2回講師会を開催し、卒業判定及び単位認定、成績優秀者・皆出席者・特待生の選考、次年度行事日程等について協議を行った。

- 出席者 征矢校長ほか17名
- 2月 6日 第2回学校運営委員会を開催。次年度入学試験、オープンキャンパス、体験入学日程、学校評価規程の策定及び学校関係者評価委員会の設置等について協議を行った。
- 出席者 森永学校運営委員長ほか13名
- 2月 6日 第2回センター運営委員会を開催。次年度事業計画（案）について協議を行った。
- 出席者 森永口腔センター運営委員長ほか8名
- 2月 7日 内外情勢調査会2月例会が水戸京成ホテルにて開催された。
- 出席者 森永会長
- 2月 8日 日本補綴歯科学会東関東支部第2回理事会が千葉県「千葉スカイウインドウズ」にて開催された。
- 出席者 今湊理事
- 2月 9日 口腔ケア講習会を開催。高萩市総合福祉センターにて開催。「口腔健康管理の基礎」の演題で歯科衛生士による実技指導を交えて、今川隆介 介護保険委員が講演を行った。
- 受講者 31名
- 2月12日 新規指定保険医療機関等に対する個別指導が厚生局茨城事務所にて実施された。
- 対象医療機関数 8
- 2月12日 県医師会警察医部会法医学研修講演会が県医師会にて開催。「Aiを用いた検案・解剖について」の演題で、北海道大学大学院医学研究院 社会医学系部門 社会医学分野 法医学教室准教授の兵頭秀樹先生が講演された。
- 出席者 森永会長ほか3名
- 2月14日 労働保険事務組合事務担当者会議がテラスザガーデン水戸にて開催された。
- 出席者 須能職員
- 2月15日 第2回介護保険委員会を水戸市内で開催。介護保険講習会、口腔ケア講習会、歯科保健医療サービス提供困難者への歯科保健医療推進、歯科訪問診療事例集の改正、認知症対応力向上研修事業について協議を行った。
- 出席者 小野寺介護保険部長ほか8名
- 2月16日 介護保険講習会を開催。「オーラルフレイルから要介護、そして人生の最終段階へと続く口腔ケア」～死生学と口腔ケアの関係～と題して陵北病院副院長の阪口英夫先生が講演された。
- 受講者 41名
- 2月19日 県社会福祉審議会が県庁舎にて開催され、県地域福祉支援計画（第4期）の進捗状況について協議が行われた。
- 出席者 柴岡理事
- 2月19日 日学歯加盟団体長会が日歯会館にて開催され、令和2年度事業計画案の大綱ほかについて協議が行われた。
- 出席者 森永日学歯代表会員
- 2月19日 県民健康づくり表彰式が県庁舎9階講堂にて開催された。
- 出席者 黒澤副会長



2019年度摂食嚥下研修会報告

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸

西連寺 寿恵、三田村 佐智代、野村 美奈、鈴木 伶菜、白戸 美香、
村居 幸夫、森永 和男

はじめに

(公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸では平成24年度から、地域の障害のある者にかかわる職種・保護者を対象に、食べることの基礎的な知識や応用技術の向上をはかり、より熟練した支援者の育成を目指すことを目的に年6回の摂食嚥下研修会を開催してきた。8年目の今回も三田村佐智代先生((公社)茨城県歯科医師会 口腔センター水戸 非常勤歯科医師 日本大学松戸歯学部障害者歯科学講座)を講師に迎えて、“発達期障害児・者の食べる機能を育てるために”をテーマに講義・実習・事例検討を行った。日程・内容の詳細は下表に示す。

*2019年度 プログラム

月 日	内 容
R1 7/16	第1回講義 食べるための構造とメカニズム
8/20	第2回講義 哺乳・離乳・自食機能の発達とその障害
9/17	第3回講義 摂食嚥下機能訓練の実際①
10/15	第4回実習 摂食嚥下機能訓練の実際②
11/26	第5回実習 摂食嚥下機能障害への対応 —各障害における摂食指導の実際—
12/17	第6回講義 摂食嚥下機能評価の方法 事例検討

講義内容は、食べるための構造とメカニズムか



受講の様子



講師の三田村 佐智代 先生

ら始まり、哺乳・離乳期・自食機能の発達とその障害、摂食嚥下機能訓練の実際(間接訓練①・直接訓練②)、摂食嚥下機能障害への対応、摂食嚥下機能評価の方法と事例検討の順で講義して頂いた。

実習は、摂食嚥下機能訓練の実際として、間接訓練では嚥下反射促進法(ガムラビング・味覚刺



相互実習の様子

激)・筋刺激訓練(舌訓練・口唇訓練・頬訓練)などを実際に相互で実習を行った。

直接訓練では、乳児嚥下や過開口での嚥下体験をした後に顎介助をしての嚥下訓練、口唇の役割を理解しての口唇の介助法、前歯咬断訓練や咀嚼訓練から水・トロミを使っての水分の摂取訓練など、いずれも2グループに分かれて当センタースタッフがデモンストレーションを行い相互で実習を実施した。

*受講登録者の職種

受講者の職種は教諭・養護教諭が最も多く17.2%、次いで支援・指導員が11.1%、保育教諭・保育士が10.1%の順であった。下記に受講登録者の一覧を表に示す。

受講登録者の職種

職種	名 (%)
教諭・養護教諭	17 (17.2)
支援・指導員	11 (11.1)
保育教諭・保育士	10 (10.1)
看護師	7 (7.1)
歯科衛生士	7 (7.1)
歯科医師	6 (6.1)
管理栄養士	6 (6.1)
栄養士	6 (6.1)
児童・発達指導員	6 (6.1)
作業療法士	5 (5.1)
言語聴覚士	3 (3)
栄養教諭	2 (2)
保健師	1 (1)
障害者施設職員	1 (1)
介護支援員	1 (1)
心理相談員	1 (1)
保護者・患者家族	5 (5.1)
その他	4 (4)
合計	99 (100)

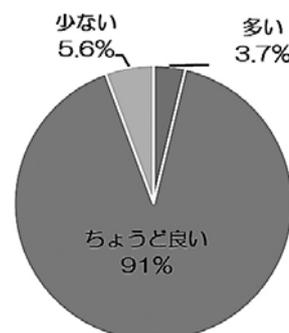
*アンケート集計結果

受講された方々にアンケートをお願いし、回収した集計結果の一部を抜粋し、まとめたものを報告する。最終回の受講者は61名であり、アンケート提出者は54名で回収率は88.5%であった。

○研修会についての受講者の評価について

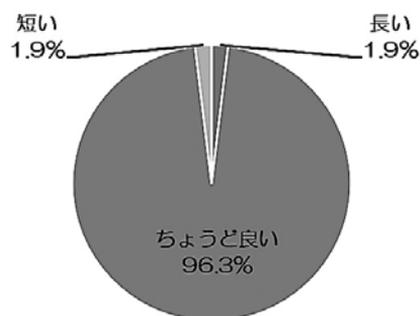
・研修会(全6回)の回数について

研修会の回数は「ちょうど良い」が最も多く91%、次いで「少ない」が5.6%、「多い」、3.7%で、少ないと答えた中で希望の回数は、8回が1名、10~20回が1名であった。



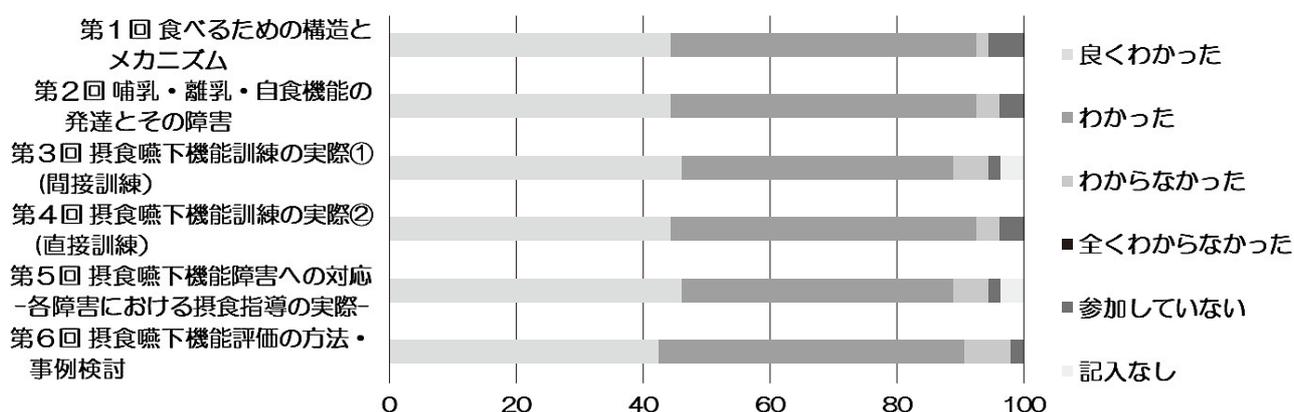
・1回の講義および実習時間（90分）について

研修会は講義や実習時間と質疑応答を含め90分間で実施した。「ちょうど良い」と回答した方が96.3%とほとんどで「短い」、「長い」がそれぞれ1.9%でした。短いと回答された方の希望時間は1日でした。



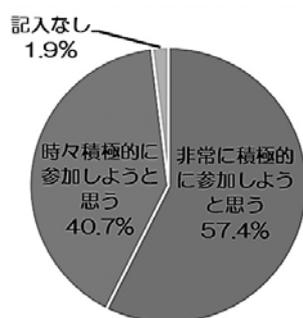
・研修内容の理解度について

全6回の研修会で、「良くわかった」、「わかった」と回答した方は毎回8割以上を占めていた。



・今後の摂食嚥下研修会への参加について

「非常に積極的に参加しようと思う」57.4%、「時々積極的に参加しようと思う」40.7%と回答した方が多く、研修会を必要と感じていると思われる。



・具体的に希望する研修会の内容について

・事例検討は評価を実施してほしい（9名）

いろいろなケースを経験したい

そこからの訓練や支援について学びたい

実際のケースをもとにディスカッションを行いたい

重度の方で、全介助で食事（摂食）をする事例について

・リハビリや介助の方法をもっと知りたい（5名）

普段（食事以外の時間）からできるリハビリ方法

知的障害のある大人に対しての介助方法

より多くの障害別の摂食の特徴やその介助方法

高齢者の方々への介助方法（障害あり）

・今回と同じように繰り返し研修会を開催してほしい（3名）

県南地方で講習会を開催してほしい

・実習は役に立つと思うのでやってほしい（2名）

・もう少し具体的な内容について聞きたい（2名）

・子どもの食事形態について学びたい

- ・日本摂食嚥下リハビリテーションから子どもの学会分類が出ているのが詳しく聞きたい
- ・自閉症の子どもへの関わり方について（偏食をなくすためにどうしたらよいか）
- ・ダウン症の子どもへの介助方法を詳しく知りたい
- ・重症児に対する食べるモチベーションの作り方を知りたい
- ・特に離乳食について多く学ばせて頂き、園での研修でも取り入れました
- ・第1回目、第5回目と第6回目をもう少し時間をかけて講義を受けたかったです
- ・特に障害が無くても、食べるのが下手な子が増えているように感じます
- ・拒否と過敏の微妙な違いの区別が難しく、家族も理解していないこともあります
より良い支援の方法があればと思っています

・受講者の感想・意見

- ・事例検討などとても勉強になりました（12名）
- ・とても分かりやすかったです
忘れてしまうので何度も聞きたいです（4名）
- ・訓練・評価は、繰り返し研修しないと難しいです（4名）
- ・今回のように実践や映像で見られるのはすごく身になります（3名）
- ・訓練の仕方など上手に伝えて業務に役立ていきたいです（3名）
- ・専門用語が多く、理解するのが少し難しかったです（2名）
- ・引き続き、研修を積み重ねていかないと現場で役立てることは、難しいです（2名）
- ・介助するポイントを学ぶことができました
- ・チームで関わり、何度も観察してその子の持っている力を引き出したいと思います

おわりに

今回も多くの受講希望があり、隣接する市町村だけでなく遠方から受講する方もみられ、障害児・者に関わる方々の熱意が感じられた。また今年度は、保育教諭・保育士の参加も多かったことから、低年齢児からのアプローチ、支援の重要性についても認識されてきていると感じた。

受講者の方のご意見にあったように、繰り返し研修会を開催することで摂食嚥下の基礎的な知識や応用技術の向上につながると考える。

今後も、受講して頂いた皆様のご意見やご要望をもとに障害児・者に関わる様々な職種の方々とともに医療と現場の連携、地域の障害児・者がおいしく安全に食べるための支援ができるよう研修会を企画していきたい。

「地球のステージ」

～出会いの奇跡と健康な未来in桜川～

令和元年12月1日（日）14：00～16：10

桜川市 真壁伝承館・まかべホール

(社)茨城・県西歯科医師会 柴崎 崇

中国・武漢で発生した感染症は、まだまだ収束には時間がかかるようです。トヨタ自動車では、この春大々的な新車の発表会とキャンペーンを予定していましたが、中止になったそうです。その理由は？・・・新車の名前が「新型コロナ」だったから。(うそです)

年が明けたと思ったらもういつの間にか3月になり、今年前半はすっかり感染症の話題に振り回されて終わりそうです。思えば昨年もいろんなニュースがありました。すでに忘れかけてるようなものもありますが、あらためて主な出来事を振り返ってみて、四字熟語にまとめてみました。

令和改元 即位祝賀	台風被害 列島縦断
欧州離脱 英国分断	日韓対立 首脳煽動
基地移設 経費三倍	桜会疑惑 名簿隠蔽
暴力運転 携帯撮影	闇営業芸 吉本自粛
稀勢引退 牛久花道	全英洪野 笑顔制覇
五輪長走 札幌移転	闘球桜団 世界八強

改元やスポーツなどで明るい話題もありましたが、やはり多くは暗いニュース、不安になったり気が重くなるような出来事が多かったように思います。かの国で「自国ファースト」を訴えた大統領の出現以来、それに触発されたのか、どうも世の中に自分本位というか身勝手な考えが蔓延してきているように感じられます。それが、世界の分断を促進し、危機感や不安感を増やす要因になっているのではないのでしょうか。

今年になっても、一触即発の戦争の危機や、政治家の汚職などあいかわらず嫌なニュースが続いています。そんな中、日産のカルロス・ゴーンの逃亡劇は、まるでスパイ映画のようで楽しめました。もちろん犯罪行為なので、楽しいなんて言ったら不謹慎ですが、でもやっぱり面白かったですね（関係者の方、いたらごめんなさい）。ゴーンと検察、どちらの言い分が正しいのか、日本に戻ってきて闘って欲しいところですが、たぶんもう二度と帰って来ないのでしょうかね。でも、もし帰る機会があるとすれば、オリンピックの時が唯一のチャンスだと思います。そう、レバノン選手団の中に紛れて入国すればいいのです。もし見つかってしまったら、

「ゴーンさん、何の種目に出るんですか？」

「はい、高飛びです！」

と、ウケたところで（そうでもないか）、そろそろ本題に入ります。今回の講演会は「お笑い」ではないので、ここからはまじめに報告していきます。

県西歯科医師会では一昨年まで「笑って健康に！」～立川らく朝の健康落語講演会 in ○○～という講演会を5年間行ってきました。県西5地区を回り、おかげさまでどこの会場でもたいへん好評をいただきシリーズ終了となりました。そして今回からは新しい企画となります。

「笑って健康に！」シリーズでは、「笑いと健康の関係」をテーマにしてきました。今回は「心の健康」がテーマです。「心の健康」は「身体の健康」の基となり、さらに「健康な社会」の形成につながると考えています。

前述したように、日本のみならず世界は分断化が進み、しだいに人の心がすさんでいくように感じます。心に余裕がなくなり、「自分さえ良ければいい」そんな人が（国も）増えているように思います。相互理解・コミュニケーションが失われ、個人的な人間関係のみならず国と国との関係も悪化し、戦争の危機に発展しかねない不穏な状況です。「健康な社会」とは程遠い世界です。人も国も深刻な病を抱えていると言わざるを得ません。人は本来、もっと優しい心、他者（とくに弱者）を思いやる心を持っていたはずです。そんな「心の健康」を取り戻したいというのが今回のテーマです。

「心の健康」は人を思いやる心から始まります。それにはまず相手を知ること、自分以外の世界を知ることです。そして自分と違う考えや価値観を持つ他者をけっして排除しないこと、つまり多様性を認めるということです。笑ったり、泣いたり、感動したり、感情を共有することでコミュニケーションが生まれます。過日來日したローマ教皇が言っていたように、暴力（戦争）では何も解決しません。暴力の連鎖を生むだけです（なんか宗教っぽくなってきましたが、宗教でも自己啓発セミナーでもないですよ）。

話を本題に戻します。

「地球のステージ」は、心療内科医・桑山紀彦先生による、ライブ音楽・大画面映像・語りを組み合わせたまったく新しいタイプのステージです。桑山先生はこれまで60を超える国・地域を歩き、国際医療支援活動を展開してきました。現在、NPO法人「地球のステージ」の代表として、災害



時の緊急医療支援や紛争地・被災地での心のケアを中心として活動しています。

桑山紀彦先生のプロフィールを簡単に紹介させていただきます。

岐阜県飛騨高山市生まれ

1987年 山形大学医学部卒業、精神神経科に入局。

1988年 同大学大学院入学、精神薬理学を専攻、92年に医学博士号取得。

1989年 JVC（日本国際ボランティアセンター）に所属、難民救援活動を開始。

1991年 湾岸戦争直後のイラクに日本人医師として初めて入り、緊急救援活動を行う。

1992年～ カンボジア、ソマリア、東ティモール、旧ユーゴスラビア、パレスチナ、その他世界60以上の国・地域を歩き、医療救援活動・支援事業を行う。国内では、阪神淡路大震災、東日本大震災などの被災地にて救援活動を行う。

現在、NPO法人「地球のステージ」代表理事として活動中。

公演は1996年にスタートし、2017年茨城県より優良興業の推奨を受ける。

懇親会

開会に先立ち、講演者を囲んで懇親会（昼食会）を行いました。場所は会場すぐ近くの「伊勢屋旅

館」。明治から続く古い料亭が基になっていて、国の文化財指定を受けている「観光・真壁」を象徴する建物のひとつです。料理は「季節の田舎料理」で、桑山先生の出身地・飛騨高山にも通じる和食中心のメニューでした。

出席者は以下の14名です。(順不同、敬称略)

桑山紀彦(地球のステージ)、大谷津幸生(協和中央病院)、大塚秀喜(桜川市長)、広瀬智美(桜川市健康推進課)、斉藤育子(桜川市健康推進課)、仁保文平(桜川市医師会長)、藤井宗一(筑西薬剤師会長)、渡辺進(茨歯会専務理事)、菊池米彦(茨歯連盟県西支部長)、仁平哲夫(桜川市歯科医師会長)、青木秀史(県西歯科医師会長)、吾妻周一(同・専務理事)、古橋仁(同・広報)、柴崎崇(同・地域保健)

開会式

(司会) 柴崎崇
(会長挨拶) 青木秀史
(市長挨拶) 大塚秀喜

歯科講演：大谷津幸生 (30分)

「僕らが歯科医院へ行く理由」

私は「歯医者」です。

きっと、タイトルを見て「？」っと、思われるかも知れません。

タイトルにある「僕ら」が示すように、私と講演を聞いてくださる「あなた」にとっての歯科医院へ行く理由についてのお話をしたいと思います。

まず考えていただきたいのですが、あなたが歯科医院へ行く理由は何でしょうか？「歯科検診で虫歯が見つかった。」「歯槽膿漏で困っている。」「入れ歯が合わない。」「孫に口がくさいと言われた。」などなど、きっといろいろな理由がありますよね。賢明な方は、「要するに歯の治療でしょ！！」と即答するかも知れません。

歯医者になる前の私の歯科医院へ行く理由は



「虫歯になった。」「親しらずが変な生え方をしている。」でした。正直に言うと、歯科医院へ行くことに恐怖、不安を感じていました。できれば、行きたくないと思ったほどです。思い返してみると、「麻酔の注射をするのかな？」「やっぱり、痛いかな。」っと治療について強い不安を感じていました。また、そもそも削った歯は人工的な材料で復元されても虫歯になる前の健康な歯には戻りませんし、抜いた歯は大人の歯であればもう生えてこないという事実絶望さえ感じました。

そんな私が歯医者になった今の時代、歯科医院へ行く理由は「治療」以上に「予防」に行くことが重要となっています。今回、「僕」と「あなた」の歯科医院へ行く理由として、「予防」を一番の答えにしてほしいと思っています。虫歯にならない、歯周病にならない…それは夢のように感じるかも知れません。それを可能にするのが「予防」です。しかも「予防」で通院する歯科医院には、恐怖も不安もありません。

歯を大事にすることは、元気で活動的に人生を過ごすためにとっても重要なこととなります。

一生を通じて歯科医院をあなたの歯、口の健康を支えるパートナーとしていただければ幸いです。

地球のステージ：桑山紀彦 (90分)

1. オープニング：世界を旅する

(映像) 世界の風景、世界の人々、5大陸の最高峰

を巡る旅。

中でもとくに美しい、ウユニ塩湖に沈む天
の川（動画）

（語り）僕が世界を旅するようになるまで。そして、
ボランティア活動、国際協力（医療支援活
動）をするようになった理由。

（歌）「国境を越えて」

2. フィリピン

（映像）マニラ近郊・スモーキーマウンテン（ゴミ
の山）とそこで生活する人々。

少女ロイナス（9歳）とその家族。

（語り）ロイナスというひとりの少女との出会い。
その家族とのふれあいを通して、自分が今
までいろんな国の人々に助けられてきたこ
とを知る。

ロイナスに「ありがとう」を伝える、それ
が「地球のステージ」活動をするようにな
ったきっかけ。

（歌）「帰ろう」

3. 南スーダン

（映像）南スーダン・ウガンダ国境の難民キャンプ。
内戦で学校に行けない子供たちのための、
難民キャンプ内の小学校。そこにはロザリ
ン（16歳）、ピーター（25歳）も小学生と
して勉強している。

亡き母への思いを歌にするピーター（動画）

（語り）心に傷を受けると、記憶と感情がバラバラ
になる。

心のケア → 絵（二次元表現）、粘土（三次
元表現）、音楽（四次元表現）により記憶
と感情を結びつける。過去・現在・未来を
歌詞にして歌を作る。

人間には表現したい気持ちがある。何もか
も失っても歌う力は備わっている。

（歌）「生きる」



4. ミャンマー

（映像）多民族国家（約150民族）ミャンマー。

カックー寺院で知られるシャン州。パオ族
のイエイエ、ナンカン姉妹。

子供たちの可能性と未来について語る母
（動画）

（語り）イエイエは、英語を学び通訳になる夢を持
っている。

ナンカンは、小説家または小学校の先生に
なりたい。

日本の子供たちも、親と対話し周囲の人と
ふれあうことで、自分の可能性（故郷のた
めに何ができるか）について考えて欲しい。
ちゃんと答えられる人、恩返しができる人
になって欲しい。

（歌）「月光の龍」

5. キリバス

（映像）南太平洋の島キリバス（タラワ島とクリ
スマス島）の自然。

巨大台風、洪水の被害。

青年海外協力隊・なるみさんに現地の状況
をインタビュー（動画）

（語り）キリバスの国土は、長さ35km、横幅350m
しかない。標高は最高で3m。

地球温暖化の影響で徐々に沈んでいって
る。地球からなくなってしまう。

野菜が採れないため島民には糖尿病が多い。糖尿病外来がある。

青年海外協力隊は、堆肥を作り野菜を育てる取り組みをしている。

観光にも力を入れたい（旧日本軍の慰霊の旅など）が、ゴミ対策が必要。

(歌) 「風の住む島」

青年海外協力隊・なるみさんの言葉（インタビュー）全文

（キリバスに）協力隊に来て変わったところというのは、小さな幸せに感謝できるようになったかと思います。

たとえば、雨が降ってこれで水が使えるとか、電気が今日は停電しないで使えるとか、日本の暮らしの中ではあたりまえのこと、小さな幸せに感謝できるようになりました。停電するからといって、水が使えないからといって、幸せじゃないかというところではないと思います。

幸せというのはその国でそれぞれ違ったり、キリバスには家族のあたたかさとか、見知らぬ人でも助け合ったりとか、そういった幸せな部分や、宝物みたいな部分が残っていると思います。

なので、日本の暮らしだけが、物がたくさん、サービスがたくさんある暮らしだけが幸せなわけじゃない。豊かさって、幸せって本当はどういうものなのか、ぜひいろんな国をまわって、ご自身の目で確かめて欲しいと思います。

6. エンディング：桑山紀彦の提言

日本のコンビニでは1日400個（6万円）のおにぎりが捨てられている。ひとりひとりが無駄をなくし、電気の節約をほんの少しすることで、二酸化炭素の削減につながり温暖化対策となる。沈みゆく島キリバスを、遠い国のことで関係ないと思

わずに、自分にできる小さなことからやっていくと欲しい。それがキリバスを、そして地球を救うことにつながっていく。

「足るを知る」ひとりひとりがぜひ心掛けて欲しい。

日本の生活を見直す。そのまま捨てればゴミだが、分別すれば資源。

(映像) 台風被害の爪痕と復興に努める人々。

美しい日本の風景。笑顔の子供たち。

(語り) 子供たちが帰って来る町づくりをしよう。

人が生きている。たくさん生き方がある。

世界はとても広く、そして優しい。

世界の中で生きていく自分を、人生の主人公としてこれからも生きていこう。

(歌) 「願い」

桑山紀彦：茨城へのメッセージ

茨城はとても大好きな県です。昨日は水戸三中での公演でした。今日は笠間稲荷に寄って車のお祓いをしてもらってから、ここ桜川市に来ました。県から優良興業の表彰もしてもらいました。つくば市や小美玉市には常にサポート・応援してくれる人たちがいます。そんな県はほかにありません。

お世辞でなく、「日本三大・落ち着いた県」だと思っています。静岡、新潟、茨城です。学校が荒れているとか言う方もいますが、他とはぜんぜんレベルが違います。茨城はとても落ち着いています。

桜川市は僕の故郷・飛騨高山によく似た、古い街並みが保存されている素晴らしい町です。ぜひまた寄らせていただきたいと思います。ありがとうございます。

閉会式

県西歯科医師会会長：青木秀史より

桑山紀彦、大谷津幸生

両先生に感謝状が授与されました。

最後になりますが、桜川市の大塚市長、お手伝いいただきました桜川市保健福祉部・健康推進課職員の皆様、たいへんお世話になりました。

また、後援いただきました、真壁医師会桜川支部、および筑西薬剤師会桜川支部に感謝の意を表します。

そしてなにより、いろいろなイベントの多い時期、会場にお越しいただき、感動の涙と笑顔や励ましの言葉を送っていただいた桜川市民の皆様、本当にありがとうございました。

アンケート集計

(1) 年齢、性別を教えてください。

- ~19歳 0% 20代 3% 30代 1%
 40代 3% 50代 10%
 60代 33% 70代 27% 80歳以上 14%
 男性 25% 女性 75%
 不明または答えたくない 0%

(2) どちらからいらっしゃいましたか？

- 桜川市 81%
 筑西市、結城市、下妻市、常総市 10%
 それ以外の茨城県内 3% 茨城県外 3%

(3) ご職業を教えてください。

- 学生 0% 会社員 6% 公務員 6%
 自営業 1% 農業 0% 医師 3%
 歯科医師 5% 薬剤師 1%
 医療・介護・福祉関係 6% 主婦 34%
 無職 17% その他 3%

(4) この講演会を何でお知りになりましたか？

(複数可)

- 桜川市の広報誌 45%

- お店や施設などのポスター 8%
 所属団体・グループなどから 15%
 友人、知人から 23%
 歯科医院・歯科医師から 23% その他 3%

(5) いらっしゃった動機は？ (複数可)

- 講演内容が面白そう 31%
 心身の健康に良さそう 35%
 歯科の講演があるから 31%
 「地球のステージ」を知っている 15%
 所属団体の勧めで 9%
 友人、知人の勧めで 14%
 暇だったから 5% その他 3%

(6) 講演の感想をお聞かせ下さい。

- 満足 72% ほぼ満足 24%
 まあ普通 4% やや不満 0% 不満 0%

※ 感想 及び 歯科医師会活動についてのご意見 など自由にお書き下さい。(順不同)

- とても心に残る貴重な話を聞かせていただき、観てよかったです。ありがとうございました。(60代、女性)
- 良かったです。桑山先生、いくつもの才能を持っている方。ご活動をいっぱいして下さい。(70代、女性)
- たいへんわかりやすい内容でした。来てよかったです。(60代、女性)
- とてもすばしかったです。年代を問わずどんな人でも聞ける講演でした。ありがとうございました。(60代、女性)
- 会長の挨拶の中に、今年度の件を話し合われて続行になったとのこと、医師会員皆様の意識の高さに敬意を表します。(70代、男性)
- 司会がユーモラスで楽しかった。(80代、女性)
- 歯の話、わかりやすく良かったです。小、中、高校生の学校もめぐって話を聞かせて欲

- しいです。ぜひまわって下さい。(60代、女性)
8. お話上手で、頭の悪い私でもよく理解できました。残った歯を、予防も含めて大切にしていゆきたいと思いました。ありがとうございました。(80代、女性)
9. 歯がいろいろな病気につながっていることを教えていただいて、一本でも大事にしたいと思いました。自分も、何か人を喜ばせる事が出来るようになりたいと思いました。(60代、男性)
10. 歯の大切さを知った。
すばらしい「地球のステージ」でした。感動です。ありがとうございます!
人のやさしさ、地球のすばらしさ・恐ろしさを感じました。ありがとう、ありがとう!! (60代、女性)
11. 予防が大事ということがよく理解できました。地球のステージで世界の広さを感じました。歌もすばらしく感動しました。(60代、女性)
12. 以前から聴きたいと思って地球のステージでしたが、期待通りのすばらしいステージで感動しました。(60代、女性)
13. 今まであまり知識がなかったことを知れてとても勉強になりました。(80代、女性)
14. とても分かりやすいお話でした。
地球のステージとても良かったです。(60代、女性)
15. すばらしい! (50代、男性)
16. 大満足。八郷と桃山中の時は、先生が紛争地に急に行かれてDVDのみでしたが、深くその活動に感銘しています。少しでもにぎやかになればと思ってきました。先生のその後も聞きたいと思ひ参加させてもらいました。
満杯にならなかったのが残念。
若いパパ・ママ・子供たちにこそ来て欲しいイベントでした。(60代、男性)
17. 歯の大切さを知りました。歯周病の進行を止めるのが大切と思いました。
桑山紀彦先生ありがとうございました。すばらしい時間、感動しました。(60代、女性)
18. とっても満足。よくわかるやさしい講演でした。30分、ちょうど良い時間でした。
4年前も来ました(落語)。これからも楽しみです。
桑山先生のステージ、考えることがいっぱいありました。またお会いしたいです。(60代、女性)
19. 歯科の講演、うなづく事の多い内容で、とても参考になりました。(60代、女性)
20. 大谷津先生のお話、とてもわかりやすく丁寧に話されてよかったです。ありがとうございました。(60代、女性)
21. 考えさせられました。すばらしい歌声と映像でした。(60代、女性)
22. コンサートステージのイメージだったので若者向きかなと思ったのですが、十分我々も感動できました。ポスターにも、見た方たちのコメントを入れるとよいと思います。(60代、女性)
23. 歯が生活習慣病につながるなんて怖いですね。これからは予防の為に最低一年に一回位は歯科医院に行ってみようと思います。
桑山さんのライブ、たいへん良かったです。普通のくらしが幸福なんだと心が安まりました。(70代、女性)
24. とてもステキでした。(60代、女性)
25. たいへん良かったです。感動しました。(60代、女性)
26. すばらしい講演でした。涙が流れました。子供たちの笑顔が感動でした。
先生の活動と才能は神様に与えられたものかも?(60代、女性)
27. たいへん良いお話で、この場に来て良かったと思いました。ありがとうございました。(80

- 代、女性)
28. 「地球のステージ」すばらしかった。久々に心豊かなものを感じました。(80代、女性)
29. 柴崎先生の司会、ユーモアがたくさんあり楽しかったです。
講演もわかりやすく、歯から健康になり、歯から大病にもつながることよくわかりました。今後とも歯を大切にしていこうと思いました。ライブ音楽、たいへん良かったです!! 「地球のステージ」たいへんすばらしいものでした。茨城県の皆さん、日本の皆さんに見てほしい、聞いていただきたいです。
今日はたいへんありがとうございました!! (50代、女性)
30. 小・中学校でも実行してもらいたい。(60代、女性)
31. 今まで歯医者とはこんなふうに気楽な時間はなかったのですが、たいへん良い一日になりました。(70代、女性)
32. わかりやすかった。
地球のステージもとてもよかったです。満席になって多くの人に見てほしかったです。(60代、女性)
33. 健康はお口の健口からと思いました。
地球のステージとても良かったです。ぜひ来年もお願いします。桑山紀彦先生ありがとうございました。(70代、女性)
34. 勉強になりました。ありがとうございました。
次回もお願いします。元気をいただきました。(70代、女性)
35. 学校の養護教諭をしております。いつも学校歯科医の先生にお世話になっております。
今後ともご指導よろしくお願い致します。
司会の先生、毎回ですがとてもおもしろいです!!笑わせていただきました。(40代、女性)
36. 歯科医師の講演は分かりやすく、面白い内容でした。予防をこれからしていきます。
地球のステージの講演は今回で2回目です。どの回も変化があって幸せです。(20代、男性)
37. 地球のステージ、とてもよかったです。(70代、男性)
38. 今日は有意義なひとときをありがとうございました。
ステキな歌声そしてメロディー・歌詞、本当に感動しました。健康な未来が世界中の人々へと願っています。ありがとうございました。(60代、不明)
39. 「ありがとう」を忘れずに。
「足るを知る」大切なことです。ありがとうございました。
大谷津先生、桑山先生、すばらしい時間でした。(60代、女性)
40. 最高です。ありがとうございました。(60代、女性)
41. 感動!! すばらしいコンサートでした。(60代、不明)
42. 司会進行の方のユーモアのあるお話がとてもよかったです。リラックスして聞くことができた。1部の講演も映像があり、わかりやすかった。2部の桑山先生の伸びのある声、大きな画面で世界旅行をしている気分になりました。
美しい地球、人間も美しいとしみじみ思いました。
またお会いしたいです。ありがとうございました。(60代、女性)
43. 今までになく感動いたしました。感謝・感謝です。ありがとうございました。(70代、女性)
44. とてもすばらしいステージでした。ありがとうございました。(60代、女性)
45. 講演会、ありがとうございました。友人もつれてくればよかったです。(70代、男性)
46. 司会の方が楽しく、この方の講演を聞きたい。どこの歯科クリニックなのか知りたい。かかりたいです。

映像と語りがよかった。歌はすこし聴きづらかった。(50代、女性)

47. 映像と音楽がすばらしかった。(60代、不明)

総括・感想

桑山紀彦先生は、山形大学医学部在学中から世界を放浪する旅人、いわゆるバックパッカーでした。日本のように豊かな国や安全な国ばかりではありません。むしろそんな国は少なく、紛争地・被災地や貧困地域も数多くあります。しかしそのような国・地域でも、そこに暮らす人々はたくましく、そして優しく生きています。生き方や価値観は様々で、人の数と同じだけ幸せの形もあります。そんな人々に助けられ、優しさに触れる中で、桑山先生はボランティア活動、国際支援活動をしていくようになっていきました。

世界の広さと現実、人々の温かさ、優しさを日本人の人々にも伝えたいという思いで「地球のステージ」という公演を立ち上げ、日本中を回っています。とくに未来を担う子供たちにとって大きなメッセージとなりますので、学校関係の公演が多く7～8割を占めるようです。年間100ステージ以上をこなし、学校関係者にはかなり有名な先生です。

大画面の映像で世界の美しい風景を紹介しながら、語られる様々なエピソードやメッセージに、

観客は引き込まれ、感動に涙します。また自作の歌をギターを弾いて歌い、時にバイオリンも弾いて魅了します。本業は心療内科医ですが、多彩な才能を持ち、そのどれもがクオリティ高く、説得力は「半端ない」ものです。

アンケート結果でも、数人の方が「ぜひ子供たちに聴かせたい」と書いていました。私もそう思います。子供たちに与えるインパクトは絶大でしょう。しかしすでにその活動は日本中の学校で展開中です。私は逆にそれだけではもったいないと考えました。大人でも、さらにシニア世代でも十分感動できる。むしろ（将来的でなく）現時点で社会に影響力のある大人にこそぜひ聴いてもらいたいと考え、この企画を立ち上げました。

公演後、何人もの方に直接、「感動しました」「とても良い企画でした」などお褒めの言葉をいただきました。あたりまえですが、大人になっても、高齢者と呼ばれる世代になっても、いくつになっても感性は変わりません。感動すると涙が出てくるのは同じです。いやむしろ多感になるのかもしれませんが。

「地球のステージ」公演は、現在7シリーズ、30話あるそうです。今回の好評を糧に、次回は筑西市にて開催したいと考えています。ぜひ一度「地球のステージ」を体験してみてください。



〒310-0911 茨城県水戸市見和2-292
 公益社団法人
茨城県歯科衛生士会
 TEL・FAX 029-253-5807
<https://ibaraki.jdha.or.jp>
 E-mail jimuj@ibaraki-dh.net

(公社)茨城県歯科衛生士会 県北支部 成井 恵子

私は結婚を機に退職をしてから15年間専業主婦をしていました。子育てをしながら、ママ友とランチや近場へ遊びにと楽しい主婦生活を満喫していたその時！同期から突然のメール！

「久しぶりー。歯科衛生士の簡単な仕事があるけど仕事復帰しない？」

「復帰！？無理！無理！無理！15年もブランクあるし！できるわけないよ！」

断わり続けていましたが、受験生になる息子から「やればいいじゃん。せっかく免許持っているのに勿体ないよ。何よりお母さん暇しているからやったらいいよ。」将来を夢見ている最中の息子に言われ、親として専門職を無駄にはできないと考え直し復帰することとなりました。

復帰1年目は、1歳半、2歳児健診時にブラッシング指導とフッ素塗布です。現役時代にはなんてことのない仕事ですが、15年のブランクは大きく、毎回大汗ものでした。子どもの扱い方、言葉の使い方や伝え方、時間配分など毎回反省でした。今では小汗になり、短時間で要点を伝え、最後にはお子さんと笑顔でハイタッチバイバイができるように心掛けています。

そんな私も、先輩や同期の歯科衛生士さん達に少しずつ仕事を増やしていただきながら5年が過ぎようとしています。復帰は大変ではありましたが、それ以上に友人知人がたくさんでき、狭かった知識と行動の私を変えてくれました。

これからも、歯科衛生士を続けていきたいです。

有限会社 アイ・デー・エス は、
各種保険の代理店・集金業務
を行っております。

〈損害保険会社〉

損害保険ジャパン日本興亜株式会社

東京海上日動火災保険株式会社

〈生命保険会社〉

SOMPOひまわり生命保険株式会社

朝日生命保険相互会社

日本生命保険相互会社

大樹生命保険株式会社

明治安田生命保険相互会社

住友生命保険相互会社

第一生命保険株式会社

アフラック生命保険株式会社

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

三井住友海上あいおい生命保険株式会社

〈取扱保険商品〉

医師賠償責任保険

個人情報漏えい保険

クレーム対応費用保険

所得補償保険

長期傷害所得補償保険

家族傷害保険

デンタルファミリー傷害保険

ゴルファー保険

自動車保険

火災保険

グループ保険 (団体定期保険)

小規模企業共済

新規加入、増額変更、何なりとご用命ください。

有限会社 アイ・デー・エス

代表取締役 森永 和男

水戸市見和 2 丁目 292 番地の 1 茨城県歯科医師会館内 Tel:029-254-2826

みんなの写真館

Photo
Gallery



(社) 東西茨城歯科医師会 石本 崇子

会員数

令和2年1月31日現在

地 区	会員数(前月比)
日 立	115
珂 北	148
水 戸	156
東西茨城	73
鹿 行	104
土浦石岡	181
つ く ば	134 +1
県 南	176 -1
県 西	154
西 南	105
準 会 員	5
計	1,351 ±0

みんなの写真館写真募集!

このページには皆さんからの写真を掲載できます。表紙写真に関連した写真、ご自宅の古いアルバムに埋もれた写真などをお送り下さい。

1種会員	1,153名
2種会員	69名
終身会員	124名
準会員	5名
合計	1,351名



Ibaraki Dental Association
公益社団法人 茨城県歯科医師会

茨 歯 会 報

発行日 令和2年3月
発 行 茨城県歯科医師会 水戸市見和2丁目292番地
電 話 029(252)2561~2 FAX 029(253)1075
ホームページ <http://www.ibasikai.or.jp/>
E-mailアドレス id-05-koho@ibasikai.or.jp

発行人 渡辺 進
編集人 柴岡 永子



この会報には、環境に配慮して植物油インキを使用しております。